

審議会会議録

会議名称	平成28年度 第3回伊達市立図書館運営協力会		
議 題	(1)伊達市立図書館あり方検討委員会の進捗状況について (報告) (2)図書館運営に係る意見交換		
開催日時	平成28年11月4日 (金) 14時00分～15時00分		
場 所	伊達市立図書館 2階 視聴覚室		
出席者	伊達市立図書館運営協力会委員 9名 (欠席者1名) 事務局 (伊達市教育委員会教育部図書館)		
	所管部課名	伊達市教育委員会教育部図書館	
公開 非公開 の 別	<input checked="" type="checkbox"/> 公開	傍聴者の人数	1名
	<input type="checkbox"/> 非公開	非公開の理由	
<p>【会議の概要】</p> <p>1. 開会</p> <p>2. 議事</p> <p>(1)伊達市立図書館あり方検討委員会の進捗状況について (報告)</p> <p>【会長、委員より報告】</p> <p>会 長～図書館あり方検討委員会は、年5回の開催が予定されている。既に3回の会議が行われ、残りは11月の末と2月に開催される。3回目までに出てきた意見のある程度の大枠でまとめ、今後の図書館に求められる機能を3つにまとめた。一つ目は、市民に情報を提供すること、二つ目は市民の居場所となること、三つ目は本と人を結びつけることとして整理された。さらにそれらについて、施設設備と取組の二つの視点で整理した。</p> <p>委 員～提言する前なので、詳細についてこの場で報告することは控えるが、今まで図書館運営協力会から出ていた意見をかなり吸い上げた内容となっている。3回目まででおおよその意見が出そろっている。今月30日に4回目の会議が開催され、そこで提言のたたき台を委員に示して、検討する予定である。</p> <p>会 長～以上で経過報告とするが、報告内容について何かあるか。 図書館運営協力会としては非常に関連深い事なので皆さんにご報告はするが、この場で図書館あり方検討委員会の提言内容についてどうこうという事にはならないのでその点は理解していただきたい。</p> <p>委 員～市民の意見は他にもあると思うが、できるだけこの会の意見を反映させていただきたいと思う。子どもから高齢者までの居場所になるような施設という点で、ある程度ゆとりのある広さにしてほしい。また、子どもたちがくつろげるような空間や、異世代交流の空間、喫茶コーナー等を設けてほしい。</p> <p>委 員～過去の図書館運営協力会からの提言内容については、図書館あり方検討委員会の場で我々、図書館運営協力会から選出の委員から意見を出してい</p>			

る。また、図書館あり方検討委員会でも同様の意見が出ており、今委員がおっしゃった内容はほぼ提言のたたき台に含まれている。

会長～議事（1）については以上でよろしいか。

全員～よし。

(2) 図書館運営に係る意見交換
【事務局より説明】

【質疑・意見交換】

委員～平成21年度に提言した「開館時間の延長」についてだが、平成26年度に試行したものの利用者が少なく費用対効果を考慮すると継続実施はしないとのことだが、夏の間だけでもなんとか実施できないか。

事務局～現状の人員配置では難しいので、現時点では実施できない事をご理解願いたい。

委員～人員不足や費用対効果については理解するが、市民の中に開館時間の延長を期待している人たちがいることを分かってほしい。継続して行うことによって、市民に浸透し利用者も増えるのではないか。

委員～延長期間中のボランティアを募ってはどうか。

委員～図書館あり方検討委員会でも意見が出ていたが、他市と比べると職員数が少ない。公務員は勤務時間も決まっており、現状の人数で時差勤務をするのは難しいのではないか。開館時間の延長以前に、まずは職員数を増やしサービスの向上を図ることを求めてはどうか。個人情報扱う内容もあり、ボランティアにお願いするというのは難しいと思う。

委員～運営をスムーズにするためにも、しょっちゅう図書館長が変わるのではなく、しっかりと腰を据えて取り組んでもらいたい。

会長～今年度の提言内容についてだが、平成27年度に口頭で伝えた内容と今年度の意見交換の内容を基にするということによいか。

委員～「学校司書制度の導入」についてだが、図書館が導入するのではなく、小中学校が導入する事なので、図書館運営に関する提言の趣旨から外れると思う。以前視察に行った恵庭市では、たまたま図書館が司書を雇って学校に派遣するというシステムになっていた訳で、図書館の運営に関する提言に入れることに違和感を感じる。

会長～あくまで、市町村の教育委員会が司書を雇って小中学校に配置するという事。恵庭の場合は、各校に学校司書を配置する事によって図書館活動、子どもたちの読書活動に非常に良い効果をもたらした。具体的なシステムは別にして、図書館の運営をより活性化するためにも良い取組モデルだという事で過去の提言に含めてきた。

委員～学校に司書を配置する事によって、学校の図書室と図書館とが密接な関係

を持つことができると思う。

委員～学校司書配置による効果については十分理解しているが、この件に関しては教育委員会の学校担当に伝えるべき内容であって、図書館に関して提言する内容ではないと思う。

事務局～確かに、直接的に図書館の運営に関する内容ではない。例えば、提言書の提出先は教育長なので、図書館運営に関する提言書の中で本題には含めず、学校司書の有効性について記載する方法もある。

委員～事務局から提案のあったように、図書館運営に関する提言書に一筆加える方法で教育委員会に要望することで良いと思う。

会長～平成19年から色々と提言を出してきたが、図書館運営に関する事と行政そのものに関する事の区別は明確にはしてこなかった。とにかく、図書館が良くなればという事で枠は設けずにきたところであるが、提言書の作成にあたり副会長、事務局と内容を整理する。

3. その他

事務局～報告事項が3件ある。

1件目は読書感想文の第2次審査員選出について。10月14日付で会長あて依頼文を出した。会長との事前打合せで、会議の中で決定するのは難しいとの事から、勝手ながら個別に依頼し5名の方から快諾していただいた事を報告する。今年の応募数は小学生が60名、中学生が15名で昨年にと比べるとそれぞれ3名、4名少ない状況である。

2件目は図書館まつりについて。別紙チラシの内容で開催中である。

3件目は読書通帳について。平成27年度に策定した子どもの読書活動推進計画の中で読書ノートを作成し子どもたちの読書意欲を高めることを掲げていたのだが、伊達ライオンズクラブから創立55周年事業として読書通帳2,850冊の寄贈があった。図書館まつり初日の10月21日から配布を始めて、既に約200冊を配布し好評である。

委員～小学校へ配付しているのか。

事務局～伊達ライオンズクラブの意向もあり、各学校に配るのではなく図書館で配布する事で図書館の利用促進につなげることにしている。

委員～校長会を通じて周知するなど、各学校への周知を徹底していただきたい。

事務局～了解した。次回は平成28年12月16日(金)午後2時から開催する。

4. 閉会